

## 「パンスター・ドリーム」の韓国クルーズに乗る(その1)

事務局長 池田良穂

大阪と釜山を結ぶパンスタークルーズの国際フェリー「パンスター・ドリーム」に久しぶりに乗船しました。大阪で開催された「夕陽と語らいの宿ネットワーク」主催の第16回夕陽サミットで「クルーズと夕陽」という講演の依頼を受けて、そのサミット終了後に、同ネットワークの会員であるパンスタークルーズの「パンスター・ドリーム」に乗って、船上からみる夕陽を楽しもうという企画でした。

夕陽サミットは、大阪南港にあるATCサンセットホールで開催され、全国から夕陽が自慢の宿の経営陣が参加しました。大阪港の概要説明、釜山の観光戦略についての報告の後、私が基調講演をし、その後パネルディスカッションが繰り広げられました。「夕陽と語らいの地域大賞」には大阪市港湾局が輝き、その後、サンスターライン(パンスターの日本法人)の野瀬社長が第16回全国夕陽サミットの宣言文を読み上げ、それが採択されました。

サミット終了後、大阪南港の国際フェリーターミナルに移動して、「パンスター・ドリーム」に乗り込みました。ちょうどドック直後とのことで、船体はびかびかでした。

当日は、韓国の高校生の団体が乗船して満船状態で、船内は賑やかでした。夕食前にCAFÉ夢で乾杯し、17時の出港をデッキからみて、夕食のバイキング料理をマスカレードという新しいレストランスペースでいただきました。

夕食後のレストランの舞台では、団体高校生のイベントが行われていて大賑わい。また、新設された寿司バーで握りずしをつまみました。

翌早朝に関門海峡を通過すると、玄界灘は大荒れで、「パンスター・ドリーム」も結構揺れました。その揺れは、釜山に着く12時頃まで続きました。ただ、博多航路のジェットフォイルは走っていたので、波高は3m程度ということなのかもしれません。釜山のターミナルで聞くと、「条件付き」の出港で、荒れば戻る可能性があるということでした。

釜山では、元の内航客船埠頭のあたりの係留船を見て回りましたが、その沖合の造船所では元日本のフェリーらしき船が改装中でした。



大阪港に停泊する「パンスター・ドリーム」



新レストランスペース「マスカレード」



船内に新設された寿司バー。



造船所で改装中のフェリー。旧船名は未確認。



釜山港にかかる橋の下を通過して国際客船ターミナルに。



国際フェリーおよびクルーズ客船の埠頭。



国際客船ターミナルビルと、停泊する日韓航路の高速船。



旧内航フェリー岸壁に繋がれていた中古高速カーフェリー。対馬航路用に購入されたものの、2隻ともかなり長く係船状態にあります。